

Beginning

職業訓練参加者インタビュー

一般社団法人建設ディレクター協会内(京都府)に設置された拠点では10月26日~12月15日の期間に合計20日間、第1回建設ディレクター育成コースを開催しました。

今回は16名(女性13名、男性3名)の方が12月15日に訓練を修了。地域の建設企業と連携し、就職支援を進めた結果、2021年2月現在12名の方が建設企業へ就職または内定しています。



山仲 倫子さん

— 訓練に参加した山仲倫子さんと中村聡子さん。2人は建設業に携わったことのない、まったくの未経験者です。建設業でも新しい職域となる「建設ディレクター」を目指して訓練に参加した2人にお話を伺いました。

学べば学ぶほど感じる 建設業のおもしろさ

— 建設ディレクターという職種を知ったきっかけを教えてください。

【山仲】友人が「建設ディレクター育成講座」を受講していて、詳しく教えてくれたことがきっかけです。話を聞いているうちに興味が湧いて、参加してみようと思いました。

【中村】私は生活情報紙の記事でこの職種を知りました。最初は流し読みをただけだったので

これまでのキャリアを 活かして求められる人材 を目指したい

が、なぜか頭から離れなくて。締め切りの直前に思い立って応募しました。

— 受講することを決めた理由はなんですか。

【山仲】建設ディレクターでは、いろいろなキャリアを積んだ人を募集していて、今後の就職活動に活かせると思い、それが決め手になりました。

【中村】大学で建築学科を専攻していたのですが、これまでの勤め先では活かせずにいたので、建設業に携わりたいという気持ちがどこかにあったのだと思います。



中村 聡子さん

— これまでのキャリアをどのように活かしていきたいですか？

【山仲】これまで受付員や販売員のほか、短期で役所でのアルバイトなどを経験し、お客様と直接コミュニケーションをとる職場が多かったので、その経験を建設ディレクターの仕事で役立てたいですし、今後もその強みを伸ばしていきたいと考えています。

【中村】以前は車のディーラーで受付をしていました。直近では知人の会社の立ち上げを手伝っています。スタッフの勤怠管理や福利厚生の手配、給与計算など総務の経験があります。これまでのキャリアと大学で学んだ建築の知識に加え、今回の講座で学んだこと、すべてを活かしていきたいと思っています。

自分の特性を武器に 達成感を得られる仕事を

— 今回参加した職業訓練についての感想を聞かせてください。

【山仲】特にビジネスマナーの授業が印象的でした。建設ディレクターも基本は人と接する仕事です。接客はこれまでの職場でも経験してきましたが、聞く姿勢や表情など、相手に良い印象を与えることが大事だと再認識できたので、自分の強みに磨きをかける良い機会になったと思います。建設業はまったくの未経験なので、建設業について基礎から学びました。受講してからは、周囲の建設業の仕事が気になるようになり、道路にあるマンホールひとつにしても「どんな役割があるんだろう？」と興味が湧いてきて、毎日が充実していたのを覚えています。そうした些細な疑問にも講師が丁寧に答えてくれたので、楽しく受講できました。

【中村】興味深かったのがアンガーマネジメントの授業でした。決まった質問に答えて診断し、自分の怒りやすいポイントを客観的に知ることができました。自身の性格について新しい発見がたくさんあり、それを知ったうえで就職活動に望めることは大きなメリットだと感じています。また、大学では建築についての知識しか学ばなかったのですが、土木工事について道路や橋に関わるインフラの知識は特に新鮮でした。災害復旧時などに土木がいかに大切な役割を担っているか、あらためて知ることができ、さらに建設業で働く

ことで、街を守っているんだという、意欲にも繋がっています。

— 受講した中で難しかったのはどんなことですか。

【山仲】建設業特有の専門用語で、例えば「KY」という言葉です。少し前に流行語として「空気を読めない」といった意味で使われていたのですが、「危険予知」のことだと知って驚きました(笑)。

【中村】私は計算です。面積や体積を求めるまでは問題なくできたのですが、ルート計算を使うときなどはもうお上手でした。

— 今回、WEB講座を受講した感想はいかがですか。

【山仲】対面授業ではないことで、講師が私たち一人ひとりの理解度をどれくらい把握できているのかが心配でしたが、毎回の講座で直接質問できる時間があり、理解度を確認してくれたので、講師との距離も近く感じました。

【中村】特に便利だったのが、授業の内容が難しいときや、初めて聞く言葉などがでてきたときに、受講しながらパソコン上ですぐに検索できたことです。検索方法などについても講師がアドバイスしてくれるので安心感もあり、集中して授業に

建設ディレクターなら これまでの社会経験が 建設現場できっと活かせる

望むことができました。

— 受講を終えた今、どんな建設ディレクターを目指していますか？

【山仲】得意なコミュニケーションを武器に、オフィスからの支援だけでなく、現場でも役に立てる人材になりたいです。そして、「この道路の整備にも携わったんだ」と、達成感を得られる仕事をしていきたいです。

【中村】講習で学んだ知識一つひとつはただの“点”だと思っています。それらをつなぎ合わせ、“線”にしていけるかは自分次第。与えられた場所で結果を出して、常に求められる人材になることが目標です。

— これから受講する方々に向けてメッセージをお願いします。

【山仲】実際に受講したからこそ、受けるだけの価値があるとはっきりと言えます。もし受講を迷っているようなら、チャンスを逃さず飛び込んでみてほしいと思います。

【中村】建設業は絶対になくならない仕事です。スキルを身につければ必ず活躍できると思うので、チャレンジしてほしいですね。

建設業でも新しい職域となる建設ディレクターとしての道を歩みだした山仲さんと中村さん。女性ならではの視点で建設業界に新たな風を吹き込んでほしいと思います。

建設ディレクターが一步を踏み出す勇気になる

建設ディレクターとは、忙しい建設現場をIT技術で支える、建設業で新しく誕生した職種です。定められたルールを確認しつつ、現場監督と協力して書類を作成するのが主な仕事。動きやすい職場作りを進める建設業界で注目される存在です。

建設業の専門知識や書類作成の基礎を学びながら、「建設ディレクター初級」「建設業経理事務士4級」の資格が取れるのも、この講座の魅力。講習では専門知識の習得に加え、受講者同士や講師とのコミュニケーションを通してチームで仕事をする重要性についても学びます。誰もが建設初心者からのスタートなので、未経験、ブランクがある人も大丈夫。スタッフが皆さんに寄り添い、一緒に伴走します。正社員へのステップアップ実現を目指して、建設ディレクターへの第一歩を踏み出しましょう。



一般社団法人建設ディレクター協会
新井 恭子 代表理事

本コースはオンライン中心の訓練なので育児などで時間の制約がある方も安心して受講いただけます。

オンライン講義

訓練カリキュラム

京都府 | 建設ディレクター育成コース
(令和2年10月26日~12月15日)

— 取得できる資格 —

建設ディレクター初級試験
建設業経理事務士4級

- 入校式・オリエンテーション・講話、ビジネスマナー 1日間
- 建設業の基礎知識、建設業の歴史と社会的役割 2日間
- 専門用語と工事の種類、安全衛生の知識 3日間
- 工事書類作成に必要な基礎知識 5日間
- 建設業経理事務士4級特別研修 2日間

- 就職活動準備 2日間
- キャリアコンサルティング 2日間
- 現場見学 1日間
- インターンシップ 1日間
- 修了式 1日間